

熊本県財政の概要



© 2010熊本県くまモン

令和5年（2023年）10月
熊本県総務部財政課

目次：

I. 熊本県のプロフィール … P1

II. TSMCの進出 … P5

III. 熊本地震からの創造的復興 … P12

IV. 令和2年7月豪雨からの創造的復興 … P22



© 2010熊本県くまモン

(財政関係資料)

V. 財政の姿 ～決算状況から見るくまもと～ … P35

VI. 一般会計予算の概要 ～予算から見るくまもと～ … P42

VII. 熊本県市場公募債の状況 … P45



© 2010熊本県くまモン

1. 熊本県の プロフィール

I-(1) 人口・面積・位置

【I.熊本県のプロフィール】

- 九州地方のほぼ中央に位置し、古くから九州の行政、交通、経済の拠点として発展
- 多彩な農林水産業、半導体関連産業や自動車関連産業などが展開



※時間は、熊本ICまたは熊本駅からの時間

熊本県の概要

人口 = 171万8千人 (全国23位)
 面積 = 7,409.18 Km² (全国15位)
 県内総生産 = 6兆1,051億円 (全国25位)

※出典：総務省推計人口 (令和4年度)、国土交通省国土地理院全国都道府県市区町村別面積調 (令和5年度)、内閣府県民経済計算など (令和2年度)



© 2010熊本県くまモン

熊本県内の国の主な出先機関 (九州全体・複数県を統括する機関)

九州財務局	熊本国税局
九州総合通信局	九州農政局
九州森林管理局	九州地方環境事務所
陸上自衛隊西部方面總監部	

飛行機

東京ー熊本	90分	伊丹ー熊本	65分	ソウルー熊本	70分
成田ー熊本	100分	関西ー熊本	65分	台湾高雄ー熊本	110分
静岡ー熊本	100分	天草ー熊本	20分	香港ー熊本	175分
中部ー熊本	70分	天草ー福岡	35分		
小牧ー熊本	80分	沖縄ー熊本	90分		

J R

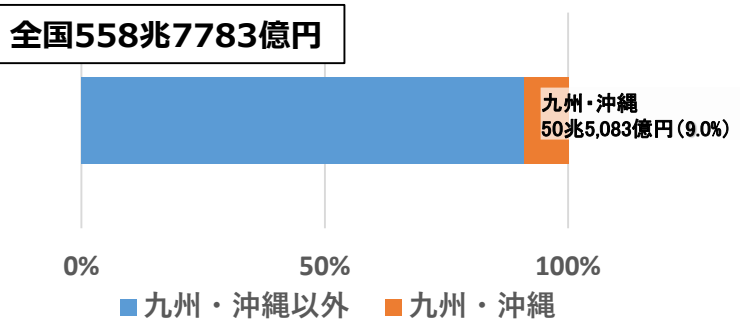
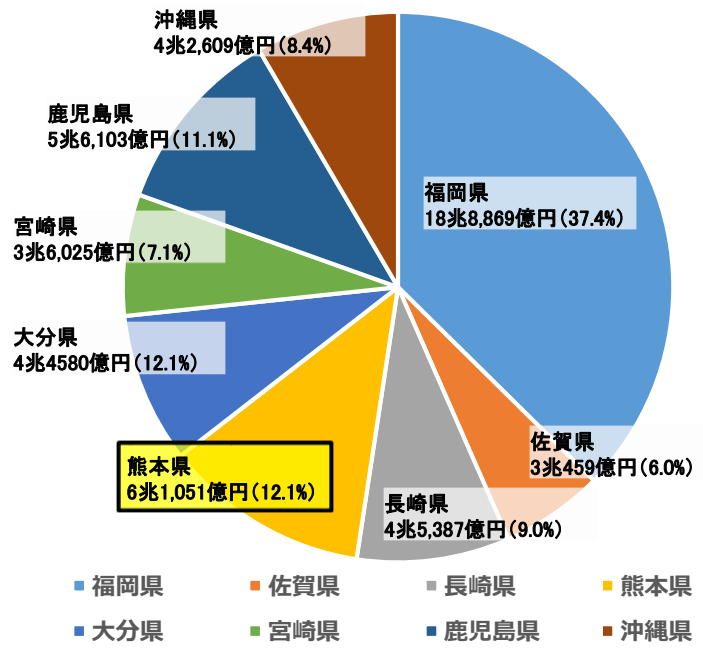
博多ー熊本	33分
新大阪ー熊本	2時間58分

I-(2) 県内総生産

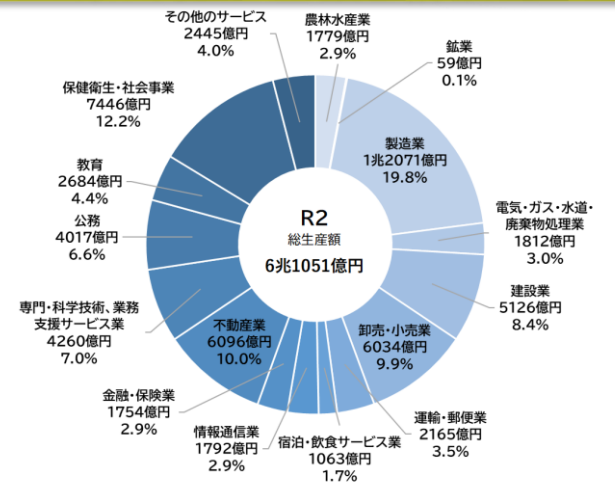
【 I .熊本県のプロフィール】

- 本県の県内総生産（名目）は6.1兆円で、九州全体の約12.1%のシェアを占める
- 製造業が最も多く、次いで、保健衛生・社会事業、不動産業となっている
- また、本県産業の特徴として、産業別の特化係数では、農林水産業が2.9と最も高い

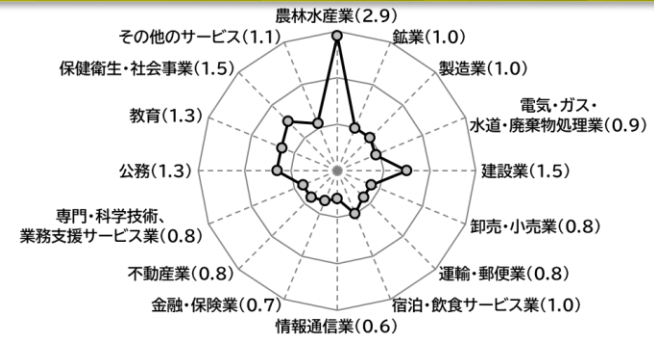
県内総生産額の九州に占める割合



県内総生産額と構成比



産業別特化係数



※特化係数
特化係数が1.0より大きい場合、全国と比べて特徴のある産業といえる。

出典：内閣府県民経済計算（令和2年度）など

I-(3) 熊本県の産業集積

【I.熊本県のプロフィール】

分類	企業名	所在地
輸送用機器関連	1 アイシン九州㈱	熊本市
	2 焼ヒサダ 九州工場	熊本市
	3 焼九州エフ・シー・シー	宇城市
	4 日立Astemo宇城㈱	宇城市
	5 焼九州トリックス	荒尾市
	6 豊三熊本㈱	玉名市
	7 エイティイー九州㈱	玉名郡南関町
	8 熊本工機㈱	玉名郡南関町
	9 ティエフォー㈱ 熊本工場	玉名郡南関町
	10 焼九州イノアック 菊池工場	菊池市
	11 九州ティ・エス㈱	菊池市
	12 九州柳河精機㈱	菊池市
	13 志志技研工業㈱	合志市
	14 中央お鍛工業㈱ 熊本工場	菊池郡大津町
	15 富士精工㈱ 熊本工場	菊池郡大津町
	16 本田技研工業㈱ 熊本製作所	菊池郡大津町
	17 NOK㈱ 熊本事業場	阿蘇市
	18 焼青山製作所 熊本工場	阿蘇郡高森町
	19 九州武蔵精機㈱	球磨郡錦町
	20 焼川島ダイカスト工業 熊本工場	球磨郡多良木町
	21 熊本部品㈱	天草市

一般製造業	22 児島段ボール㈱ 熊本工場	熊本市
	23 焼ホクエツ 熊本テクノカルセンター	熊本市
	24 エア・ウォーター 西日本㈱	宇土市
	25 大谷塗料㈱ 熊本工場	宇土市
	26 三菱ケミカル㈱ 熊本工場	宇土市
	27 焼プリチストン 熊本工場	玉名市
	28 焼トッパンパッケージングプロダクツ 玉名工場	玉名市
	29 九州オルガン針㈱	玉名郡玉東町
	30 シンレキ工業㈱ 九州事業所	玉名郡南関町
	31 富士ダイス㈱ 熊本製造所	玉名郡南関町
	32 焼毛ロジケミカル	玉名郡南関町
	33 ジャパンマリンユナイテッド㈱ 有明事業所	玉名郡長洲町
	34 日立造船㈱ 有明工場	玉名郡長洲町
	35 ニセライトメタル㈱	玉名郡長洲町
	36 焼LIXIL 有明工場	玉名郡長洲町
	37 シマノ熊本㈱	山鹿市
	38 九州高圧コンクリート工業㈱熊本工場	菊池市
	39 昭和コンクリート工業㈱ 熊本工場	菊池市
	40 タマダ㈱ 九州工場	菊池市
	41 焼ニフコ熊本	菊池市
	42 焼ミネロン 熊本工場	菊池市
43 ミライアル㈱ 熊本事業所	菊池市	
44 日本エア・リキード(有) 南九州サイト	合志市	
45 九州ツバメタオル㈱	下益城郡美里町	
46 岩下㈱ 九州工場	阿蘇郡高森町	
47 焼インターナショナル・ケミカル	阿蘇郡西原村	
48 焼共和 熊本工場	阿蘇郡西原村	
49 旭千代田工業㈱ 熊本工場	上益城郡嘉島町	
50 焼アライカーボン	八代市	
51 興人フィルム&ケミカルズ㈱八代工場	八代市	
52 日本製紙㈱ 八代工場	八代市	
53 焼福岡タルク工業所 八代工場	八代市	
54 ヤマハ熊本プロダクツ㈱	八代市	
55 YKK AP㈱ 九州製造所	八代市	
56 焼アマカタラ 水俣工場	水俣市	
57 河村電器産業㈱ 水俣工場	水俣市	
58 シンエイカセイ㈱	水俣市	
59 新栄合板工業㈱	水俣市	
60 JNC㈱ 水俣製造所	水俣市	
61 東海カーボン㈱ 田ノ浦工場	葦北郡芦北町	
62 焼レヴァル	葦北郡芦北町	
63 補助㈱ 熊本工場	人吉市	
64 森松工業㈱ 熊本工場	人吉市	
65 天草フレックス㈱	天草市	

分類	企業名	所在地	
一般製造業	66 焼日本冷熱	上天草市	
	67 ヤマ/天草製造㈱	上天草市	
	68 焼ワコロールマニユファクチャリングジャパン 熊本工場	上天草市	
	フード&ライフ	69 九州プロセスセンター㈱	熊本市
		70 コカ・コーラボトラーズジャパン㈱ 熊本工場	熊本市
		71 焼LSI安全科学研究所 熊本研究所	宇土市
		72 焼九州フジパン 熊本工場	宇城市
		73 山崎製パン㈱ 熊本工場	宇城市
		74 焼マルハニチロ九州	菊池郡菊陽町
		75 サントリー㈱ 九州熊本工場	上益城郡嘉島町
76 焼湖池屋 九州阿蘇工場		上益城郡益城町	
77 焼ヤマキフーズ 熊本工場		上益城郡甲佐町	
78 児湯食品㈱		八代市	
79 焼メイワックス	八代市		
80 メルシャン㈱ 八代工場	八代市		
81 マル/食品㈱ しらぬい工場	水俣市		
82 焼アウアピア	葦北郡芦北町		
83 焼海神貿易	天草市		
84 焼テンソー 天草事業所	天草市		

電子デバイス・半導体関連	85 タチバナ化成㈱ 熊本事業所	熊本市
	86 ルネサス セミコンダクタ マニユファクチュアリング㈱川尻工場	熊本市
	87 旭国際テクノイン㈱	宇城市
	88 中央電子工業㈱	宇城市
	89 理化電子㈱ 九州事業所	宇城市
	90 焼エム・イー・シー・テクノロジー 九州営業所	荒尾市
	91 平井精密工業㈱ 熊本事業所	荒尾市
	92 カンケンテック㈱ 熊本工場	玉名市
	93 焼トッパンエレクトロニクスプロダクツ 熊本工場	玉名市
	94 パナソニックインダストリー㈱	玉名郡和水町
95 焼匠研製作所 熊本事業所	玉名郡南関町	
96 オムロンリレーアンドデバイス㈱	山鹿市	
97 フジクラプレジジョン㈱	山鹿市	
98 倉敷紡績㈱ 熊本開発センター	菊池市	
99 ジャズベック㈱	菊池市	
100 焼山清工業九州	菊池市	
101 焼旭輝機 熊本サービスセンター	合志市	
102 東京エレクトロン九州㈱	合志市	
103 三菱電機㈱パワーデバイス製作所 熊本事業所	合志市	
104 焼アムコー・テクノロジー・ジャパン 熊本事業所	菊池郡大津町	
105 サンユー工業㈱ 熊本事業所	菊池郡大津町	
106 テラダイン㈱ 熊本事業所	菊池郡大津町	
107 ハマダレック㈱	菊池郡大津町	
108 Japan Advanced Semiconductor Manufacturing㈱	菊池郡菊陽町	
109 ソニーセミコンダクタマニユファクチャリング㈱ 熊本テクノロジセンター	菊池郡菊陽町	
110 富士フィルム九州㈱	菊池郡菊陽町	
111 東京応化工業㈱ 阿蘇工場	阿蘇市	
112 焼伊澤製作所 熊本工場	阿蘇郡高森町	
113 ナカヤマ精密㈱ 熊本工場	阿蘇郡西原村	
114 焼堀場エステック 阿蘇工場	阿蘇郡西原村	
115 焼三井ハイテック	阿蘇郡西原村	
116 焼ダイスコ九州支店	上益城郡益城町	
117 HOYA㈱ 技術開発センター	上益城郡益城町	
118 九州日誠電機㈱	上益城郡山都町	
119 神田工業㈱ 熊本事業所	八代市	
120 焼サンテック 八代工場	八代市	
121 焼アスカインテックス	水俣市	
122 焼テラプローブ 九州事業所	葦北郡芦北町	
123 ルネサスエレクトロニクス㈱ 錦工場	球磨郡錦町	
124 伸和コントロールズ 熊本工場	球磨郡山江村	
125 ユニテック㈱ 天草事業所	上天草市	

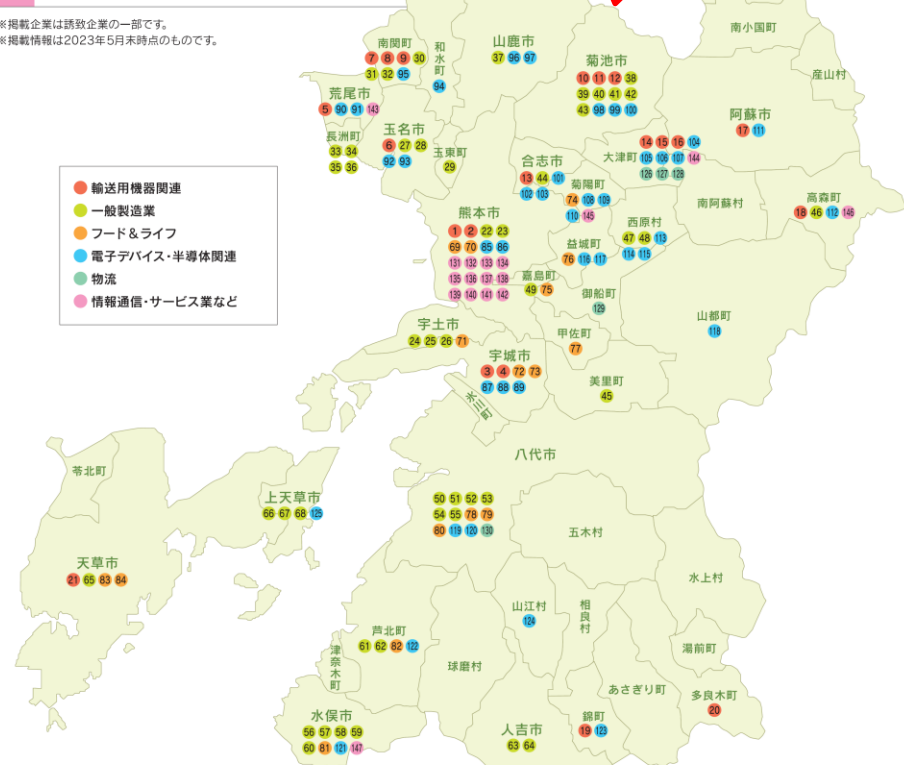
分類	企業名	所在地	
物流	126 一宮運輸㈱	菊池郡大津町	
	127 NRS㈱	菊池郡大津町	
	128 キャリムエンジニアリング㈱	菊池郡大津町	
	129 シモハナ物流㈱	上益城郡御船町	
	130 焼上組	八代市	
	情報通信・サービス業など	131 アクセシオ㈱ アクセシオ・インテリジェント・オペレーションセンター熊本	熊本市
		132 焼アソウ・アルファ	熊本市
		133 イー・ガーディアン㈱ 熊本センター	熊本市
		134 焼エコーポート九州	熊本市
		135 SCSKニアシオアシシステムズ㈱	熊本市
136 NTTマーケティングアウトProC㈱		熊本市	
137 焼JTBC コールセンター販売部		熊本市	
138 ソニー損害保険㈱		熊本市	
139 焼TMJ		熊本市	
140 焼電算		熊本市	
141 トランスコスモス㈱ BPO熊本センター	熊本市		
142 焼BBSアウトソーシング熊本	熊本市		
143 焼ニッセイコム九州開発センター	荒尾市		
144 焼構造計画研究所 熊本構造計画研究所	菊池郡大津町		
145 新電元熊本テクノリサーチ㈱	菊池郡菊陽町		
146 焼コアテックス	阿蘇郡高森町		
147 アウトビリーサイクリング㈱	水俣市		



九州中央に位置する熊本には幅広い分野で様々な企業が集積しています。



※掲載企業は誘致企業の一部です。
※掲載情報は2023年5月末時点のものです。



II.TSMCの進出

Ⅱ-(1) TSMC新工場の概要と県経済への効果

【Ⅱ.TSMCの進出】

- 建設場所: 菊陽町原水(セミコンテクノパーク隣接地)
- 稼働開始: 2024年末
- 設備投資額: **約1兆円**
- 雇用予定者数: **約1,700人**
- 月間生産能力: 55,000枚(300mmウエハー換算)



半導体産業の**集積強化**
部材など貨物量の**大幅な増加**



新生「シリコンアイランド九州」の実現
～熊本が日本の経済安全保障の一翼を担う～

経済効果 (※九州FG公表値)

熊本県における経済効果は
2022～31年の10年間で**6兆8518億円**



建設中のJASM工場



(2023年4月撮影)

TSMCの熊本進出決定後、様々な課題に対応するため、直ちに全庁横断組織を立上げ

半導体産業集積 強化推進本部

(構成)

リーダー：知事

メンバー：両副知事

知事部局各部

(県北広域本部を含む)

教育委員会

企業局

県警本部

※部長等

半導体産業集積 強化推進PT

(構成)

アドバイザー：両副知事、知事公室長

リーダー：商工労働部長

メンバー：知事部局各部

(県北広域本部を含む)

教育委員会

企業局

県警本部

※政策審議監等

Ⅱ-(3) 半導体人材の育成・確保

【Ⅱ.TSMCの進出】

《熊本大学の取組み》

「半導体・デジタル研究教育機構」 の設置や「情報融合学環」等の 設置構想

《高専機構の取組み》

熊本高専と佐世保高専を拠点校に 九州・沖縄の9高専で連携した 人材育成

《県立技術短期大学の取組み》

「半導体技術科」の新設 熊本大学への編入が可能に

Ⅱ-(4) 交通アクセスの整備

【Ⅱ.TSMCの進出】

九州の高規格幹線道路概要図



交通渋滞の解消

九州全体の産業活性化

中九州横断道路

熊本～大分を約140分で結ぶ
高規格道路を整備中。

九州中央自動車道

(九州横断自動車道延岡線)

熊本～延岡を約120分で結ぶ
高規格道路を整備中。

すべての道は熊本に通じる

地下水涵養の推進

TSMCの進出を契機とした半導体関連産業の集積が期待される中、地下水を維持し持続的に使用する仕組み作りが必要

新たな涵養策について関係機関で
検討・協議

**熊本の宝である地下水を
未来に残し、環境保全と
経済成長が両立した持続可能な
水循環体制の構築へ**

5/16、熊本地域における地下水涵養
推進に関する協定の締結



行政・団体・企業による協議



熊本の地下水の保全に向けた協定締結
(左から水循環型営農協議会、県、JASM、菊陽町、くまもと地下水財団)

くまモンCPO就任



CPO : Chief Promotion Officer
(最高プロモーション責任者)

2022年7月25日撮影



III. 熊本地震からの 創造的復興

Ⅲ-(1) 創造的復興に向けた重点10項目

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

項目名 【担当部】	浦島県政3期目				浦島県政4期目					備考			
	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度					
健康福祉部 土木部 ① 「すまい」の再建		H29.5 【ピーク時】 20,225世帯 47,800人	すまいの再建6つの支援策、 個別・重点的な対応、見守り体制の強化	R2.3末 1,296世帯 3,122人	R3.3末 150世帯 418人	R4.3末 37世帯 95人	R5.3末 5世帯 10人		益城町の土地区画整理事業(2027年度事業完了)など 公共工事に関する世帯の再建	2027年度 完了			
健康福祉部 土木部 ② 災害廃棄物の処理 完了		H28.11 応急仮設 住宅 (4,303戸)	完了	R2.3末 災害公営 住宅 (1,715戸) 整備完了					・R5.3.31 災害救助法による 応急仮設住宅の供 与終了 ・県・益城町の独自				
環境生活部 土木部 ③ 阿蘇への アクセス (道路、鉄道) の回復		【R57】 北側復旧 ルート 完了	無人施工		R2.10.3 開通								
		【R57】 現道部 完了	無人施工		R2.10.3 開通								
		【R325】 阿蘇大橋 ルート 完了	橋梁工事着手		R3.3.7 開通								
		俄山 ルート 完了	暫定開通	R1.9.14 開通									
		JR 豊肥本線 完了	県砂防・治山工事の実施 【JR】豊肥本線復旧事務所の設置、 JR復旧工事(肥後大津駅～立野駅間の先行的な復旧工事)		R2.8.8 運行再開					2023年 7月15日 全線運行再開			
		南阿蘇鉄道	再生協議会設立、国の支援スキーム決定、復旧工事(立野駅～中松駅間)			R4.4.1 (一社)南阿蘇鉄道 管理機構 設立	R5.4.1 上下分離 開始						
教育庁 土木部 ④ 熊本城の復旧		天守閣等 完了	熊本城復旧基本方針の策定(市)	R1.10.5 特別公開① (天守閣外観)	R2.6.1 特別公開② (特別見学 通路)	R3.6.28 特別公開③ (天守閣 内部公開)			熊本城 復旧 基本計画 の改定(熊 本市)	R5.12 重要文化財 藍物修復完了	2052 年度		
		重要文化財 等	復旧工事(市)、災害復旧に伴う財政的支援	R3.1.末 重要文化財 長瀬復旧完了									
土木部 ⑤ 益城町の 復興まちづくり	H29.2.3 都市計画 決定	H29.3.10 事業認可	H30.4.1 益城復興 事務所 開所	H31.1~ モデル 地区 先行整備	R2.3.末 モデル 地区 完成	R4.3.末 用地買収90% 工事促進	R4.5.28 益城町 憩ほ にぎわい 拠点 オープン	R5.3.末 用地買収99% 工事促進	R5.3.28 益城町 新庁舎 落成工事 完成	R6.3.末 用地買収 100% 工事促進	R6.3.末 憩ほ地区 引渡し 完了	2025 年度 事業完了	
		熊本高森線 4車線化											
		益城中央被災市街地復興土地区画整理事業	H30.3.8 都市計画 決定	H30.10.5 事業計画 決定	R1.6.末 仮換地 指定	R1.11~ 工事 着工	R2.6~ 宅地 引渡し	R4.3.末 仮換地指定 69% 造成工事 宅地引渡し	R4.4.1 益城町 復興 まちづくり センター	R5.3.末 仮換地指定 81% 造成工事 宅地引渡し	R5.3.28 益城町 新庁舎 落成工事 完成	R6.3.末 復興地区 引渡し 完了	2027 年度 事業完了

Ⅲ-(1) 創造的復興に向けた重点10項目

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

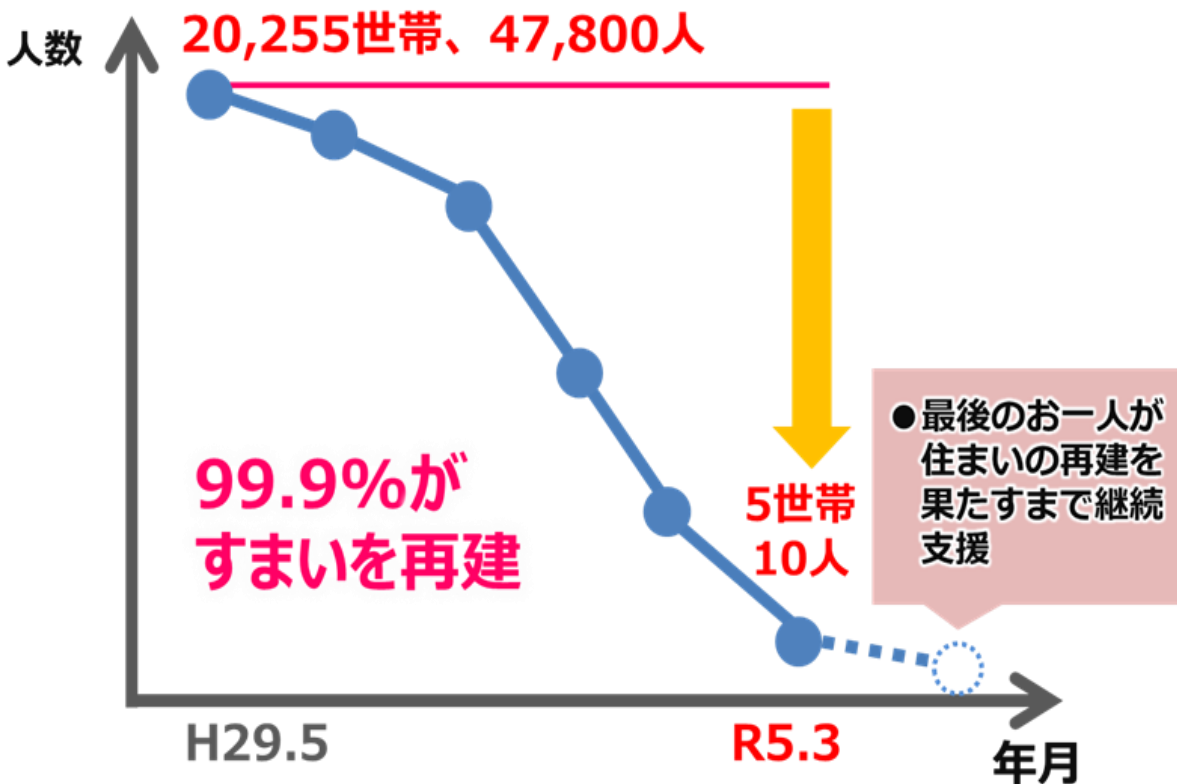
項目名 【担当部】	熊島県政3期目				熊島県政4期目							
	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度				
⑥ 商工労働部 被災企業の事業再建	グループ補助金による施設・設備の復旧				R2.3末 交付決定済: 99.7% 事業完了率: 99.9%	R3.3末 交付決定済: 約99.8% 事業完了率: 約99.7%	R4.3末 交付決定済: 約99.8% 事業完了率: 約99.8%	R5.3末 交付決定済: 約99.9% 事業完了率: 約99.9%	グループ補助金と 同スキームの県単独事業 による支援(残り7件)			
⑦ 農林水産部 被災農家の 営農再開 完了	営農施設・農地の復旧				R2.3末 営農 再開率 99.8%	R3.3末 営農 再開率 100%						
⑧ 企画振興部 大空港構想 NextStageの実行 完了	新ターミナル ビル の整備等	「大空港構想 NextStage」策定 コンセッション方式 導入表明			H31.3 優先 交渉権者 決定	R1.7~ 運営権者 による ビル事業 開始	R2.4~ 運営権 者による 全事業 開始	R2.47 国内線 別棟 ターミナル ビル 供用開始	R3.1 新ター ミナル ビル 竣工	R5.3.23 新ターミ ナルビル オープン		
	空港 アクセス 鉄道整備	交通システム の比較検討。 鉄道整備の概 略調査			鉄道整備に関する 基本的方向性を JR九州が提案	鉄道整備に関する詳細調査、 国へ財政支援等要望	鉄道整備に関する詳細調査、 国へ財政支援等要望	R2.12~ 空港 アクセス 検討 委員会 開催	三豊ルート に加え、黒水 ルート、那岐 大津ルートの 追加調査	R4.12 那岐大 津ルート に整備 方針決定	環境アセスメント、鉄道概略設計等 の調査	2027 年度 工事着手 予定
⑨ 土木部 八代港のクルーズ 拠点整備 完了	H29.1 『官民連 携による 国際 クルーズ 拠点』を 形成する 港湾』に 選定	H29.7 『国際旅客船拠 点形成港湾』に 指定	H30.2 八代港ク ルーズ 拠点 形成 協定の 締結 (国・県・ RCL)	(国) クルーズ船 専用岸壁 (県) 駐車エリア、 屋根付き通路等 (RCL) 旅客ターミナル、 おもてなしゾーン	H30.12 三者で 基本 計画 発表	R2.3 くまモ ンポ ート 八代 完成	R2.10.31 ~ プレ オープン (県民向 け公園と して開放)	R3.10.23 ~ フル オープン (土日の み)	R4.4.1~ フル オープン (平日含)			
⑩ 観光戦略部 国際スポーツ大会 の成功 完了	2019女子世界 ハンド ボール 大会	ラグビー ワールド カップ 2019			H30.11.30~ 12.9 アジア選手権 大会	R1.11.30~ 12.15 本大会						
⑪ 知事公室 観光戦略部 熊本地震震災 ミュージアム 中核拠点の 整備	R1.9 震災 ミュージアム 基本計画策定				R2.8~ 震災遺構(旧東海 大学の校舎・新 館)の一般公開	旧東海大学 体験・展示施設の整備	防災センター(1階) 展示スペースの整備			2023年度 ・旧東海大学 体験・展示施設完成 (R5.7月オープン) ・防災センター 展示スペース完成		
⑫ 観光戦略部 ONE PIECE 熊本復興 プロジェクト	ルフィ像 (県庁)				サンジ像(益城町) クワック像(阿蘇市)	チョッパー像(熊本市) ブルック像(御船町) フランキー像(高森町)	ナミ像(西原村) ロビン像(南阿蘇村) ゾロ像(大津町)	ジンベエ像 (宇土市)	南鉄全線再開 (R5夏にあわせたコラボ事業)	熊本の伝統文化・芸能とONE PIECEとのコラボ		

Ⅲ-(2) 「すまい」の再建

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

- 令和5年3月、災害救助法による応急仮設住宅の供与終了
- ピーク時（平成29年5月末）、20,255世帯、47,800人が仮設住宅に入居
- 益城町の土地区画整理事業の影響によって自宅再建ができない方々（5世帯、10人）には、県・益城町の独自支援により、仮設住宅よりも快適な住環境を提供
- 今後も益城町と連携し、最後のお一人が住まいの再建を果たすまで支援を継続

仮設住宅入居者数



災害救助法から県・町の独自支援



仮設住宅から災害公営住宅へ無償入居



Ⅲ-(3) 阿蘇へのアクセスルートの回復(道路)

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

○国道57号／国道325号阿蘇大橋の早期復旧

地震直後(2016年)



大規模な斜面崩壊により国道57号、国道325号及びJR豊肥本線が通行不能に



2020年10月3日 開通

2021年3月7日開通

現在(2022年)



Ⅲ-(3) 阿蘇へのアクセスルートの回復(鉄道)

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

JR豊肥本線／南阿蘇鉄道の早期復旧

地震直後
2016年

JR豊肥本線



◀ JR豊肥本線
沿線斜面崩壊等により
肥後大津駅～阿蘇駅間が
不通に

南阿蘇鉄道▶
トンネルや橋梁に甚大な被害
が発生し、立野駅～中松駅
間で運休中

南阿蘇鉄道



現在
2023年



◀ JR豊肥本線
2019年度末 国・県工事概成
2020年8月8日
全線運行再開

第一白川橋梁架橋の様子



南阿蘇鉄道▶

2022年4月 (一社)南阿蘇鉄道管理機構設立

→ 2023年4月から上下分離方式に転換

2022年度 復旧工事完了

→ 2023年7月15日に全線運行再開、再開と同時にJR豊肥本線乗入れ開始予定

Ⅲ-(4) 熊本城の復旧

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

地震直後（2016年）



2016年4月22日 頼当御門から天守閣方面



2016年4月22日 飯田丸五階櫓被災状況

現在（2023年）



2021年6月28日 天守閣内部公開開始



2023年3月31日 公開中の特別見学通路

Ⅲ-(5) 益城町の復興まちづくり

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

県道熊本高森線4車線化(約3.8km)

2025年度事業完了を目標

地震直後(2016年)

地震で県道沿道の家屋等が倒壊し、緊急・応急活動等に大きな支障が発生。

被災状況



被災状況



現在(2023年)

【進捗状況】合計L=3.8km

- ・歩道着手：約4.1km(上下線合計)
(うち約3.2kmが完成)
- ・車道着手：約1.4km
(うち約0.8kmが完成)

現在の状況



現在の状況(惣領付近)



- ・令和5年3月28日に熊本市側から800m区間を供用開始。
- ・令和5年度末までに惣領交差点迄の約1.6kmを供用開始予定。

広島地区供用開始



上空からの写真(広島地区)



Ⅲ-(5) 益城町の復興まちづくり

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業（約28.3ha）

2027年度事業完了を目標

地震直後（2016年）

地震による家屋倒壊で生活道路の交通機能が喪失するなど、防災面の課題が発生。



現在（2023年）

【進捗状況】全467画地

- ・仮換地指定：約8割(376画地)
- ・引渡済画地：約3割(145画地)



- ・令和5年3月に新庁舎が完成。
- ・令和5年度末までに宮園地区の宅地引渡しを概ね完了予定。



Ⅲ-(6) 大空港構想NextStageの実行

【Ⅲ.熊本地震からの創造的復興】

コンセッション方式の導入による空港ビルの創造的復興

地震直後からの取組み（～2022年）



2016.12
コンセッション方式
による国内線・国際線
ターミナルビルの一体的
整備・耐震化を表明

2019.3 優先交渉権者選定（代表企業：三井不動産（株））
2019.4 空港の運営会社となる熊本国際空港（株）設立
2020.4.1～ 熊本国際空港（株）による空港運営事業開始
2020.4.7～ 国内線別棟ビル供用開始
2021.1.15～ 新旅客ターミナルビル着工



2023年3月23日 国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル供用開始



2051年度目標値

- ◆ 国際線 **17** 路線
- ◆ 旅客数 **622** 万人
(うち国際線 **175** 万人)
- ◆ SKYTRAX **5** スター を取得



**IV. 令和2年7月豪雨
からの創造的復興**

IV-(1) 「緑の流域治水」の推進と復旧・復興に向けた重点10項目

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度末 到達イメージ	
1 堆積土砂の撤去など 河川の緊急対策	堆積土砂	県管理河川の堆積土砂撤去【93万m ³ 】 撤去完了	流下能力維持・確保のため、必要な土砂撤去の継続的な実施	133万m ³ (R5.6月末累計)	○堆積土砂の撤去完了	
	河道掘削	動植物の生息・生育環境や河川の利活用等に配慮のうえ、最大限の掘削を実施	河川整備計画策定	89万m ³ 掘削完了 (R5.6末)	継続的な河道掘削を推進 流域治水プロジェクト(R11) 約320万m ³ 掘削完了	
	災害復旧	49箇所応急対策完了(8月)	県管理の河川施設の復旧	237箇所完了 県管理9支川橋脚代行復旧工事完了	394箇所完了	○計画的な河道掘削・河川施設の復旧の実施
	河川情報の充実	<R2年度実績> 河川カメラ2基 水位計2基 増設	<R3年度実績> 河川カメラ2基 水位計7基 増設	<R2-7年度累計> 河川カメラ26基 水位計15基 増設 (橋脚代行含む)	更なる増設等の検討	
2 治山・砂防による 山の再生・強化	堆積土砂 流木	砂防堰堤の堆積土砂・流木の撤去【17箇所】 治山ダム等の堆積土砂・流木の撤去【17箇所】	撤去完了	維持管理上、必要な土砂撤去の継続的な実施		
	治山	治山施設の復旧 緊急的な治山施設の整備【67箇所】	山地防災パトロールの実施	4箇所完了 (3箇所実施中)	8箇所完了 (11箇所実施中)	17箇所完了 30箇所整備 (全箇所完了はR7年度)
	砂防施設	砂防施設の復旧 緊急的な砂防施設の整備 その他砂防施設の整備【23箇所】		87箇所完了 (214箇所継続的維持)	15箇所完了 (1箇所工事着手)	23箇所完了 22箇所整備 (全箇所完了はR7年度)
	戸別受信機	市町村への設置補助・支援	万江川流域土砂・洪水災害対策 新規事業採択 (R13年度完了)	全世帯設置完了	継続的な避難訓練実施	○全世帯への戸別受信機等の設置とL2ハザードマップの更新・周知
3 “いのち”を守る 防災・減災力の強化	ハザードマップ	L2対応ハザードマップへの更新(国管理・県管理水位周知河川)	L2ハザードマップ更新・周知完了	水位周知河川以外の河川のL2対応ハザードマップへ更新		
	マイタイムライン	マイタイムラインの普及	ガイドブックの県HP掲載 全世帯配布・訓練実施	専用WEBサイト開設 作成支援動画制作	マイタイムラインを活用した防災教育支援や 住民参加型訓練の実施	全世帯へのマイタイムライン普及
	避難計画	要支援者個別避難計画・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援	100%作成完了	計画の実効性の更なる向上、地区防災計画の策定推進 新たに地域防災計画に掲載された施設の避難確保計画作成支援や避難訓練研修等の継続実施		○要支援者等の避難計画100%作成
	田んぼダム	モデル地区選定・せき板配布	296ha(7市町村) で実証実験実施	457ha (7市町村)	検証結果の評価 人材育成着手	県モデル地区 着手(約8ha) 人吉球磨地域への田んぼダム普及・拡大 540ha
4 本格的な 住まいの再建	住まいの再建	建設型応急住宅の建設・提供 賃貸型応急住宅・公営住宅の提供	全808戸建設完了 (12月9日) 指定避難所解消 (12月31日)	応急仮設等入居者数 1,814戸4,217人 (R3.1ピーク時)	応急仮設等入居者数 537戸1,128人 (R5.6末) ピーク時の約3割	○被災された方々お一人お一人の意向に沿った住まいの再建・確保の完了
	災害公営住宅	意向確認・建設戸数の把握	災害公営住宅の設計・工事等の支援	相模村入居開始(12月) 八代市合意型入居開始(4月)	【完成】4地区、15戸 【工事中】5地区、206戸 【設計中】3地区、62戸 計12地区、283戸	【R5年度入居開始】 八代市10戸、人吉市120戸、 箕北町21戸、球磨村75戸 →全入居公営住宅の6割が完成
	災害廃棄物	災害廃棄物処理支援 公費解体支援	公費解体完了率99.9% (R4.3月末時点)	被災者への配慮案件の対応を一部継続	処理完了	○災害廃棄物処理完了
	市町村の復興計画策定支援	復興計画策定(八代市、人吉市、相模村、球磨村)	まちづくり計画策定支援	復興まちづくり計画策定(八代市、人吉市、相模村、球磨村)	まちづくりの推進	
5 被災地の まちづくりと集落再生	人吉市まちづくり	住民の意向把握	都市計画決定手続の支援 (国道445号整備、遊歩道・遊戯地の整備等)	土地区画整理事業 都市計画の決定(青井地区)	先行買収等 事業着手	測量・用地買収・改良工事
	球磨村 坂本町・箕北町 集落再生	住民の意向把握・事業計画作成・概略設計 道路・ライフラインの復旧	被災市街地復興推進地域 都市計画の決定(7月)	土地区画整理事業 都市計画の決定(総瀬町)	測量・用地買収・造成工事	測量・用地買収・改良工事 かわまちづくり社会実験
	球磨村 坂本町・箕北町 集落再生	住民の意向把握・事業計画作成・概略設計 道路・ライフラインの復旧	復興まちづくり計画策定 (八代市、人吉市、相模村、球磨村)	復興まちづくり計画策定 (八代市、人吉市、相模村、球磨村)	測量・用地買収・造成工事	測量・用地買収・改良工事 かわまちづくり社会実験
	球磨村 坂本町・箕北町 集落再生	住民の意向把握・事業計画作成・概略設計 道路・ライフラインの復旧	復興まちづくり計画策定 (八代市、人吉市、相模村、球磨村)	復興まちづくり計画策定 (八代市、人吉市、相模村、球磨村)	測量・用地買収・造成工事	測量・用地買収・改良工事 かわまちづくり社会実験

※上記の達成率等には、特別な事情により復旧等が困難な場合は含まれません。

IV-(1) 「緑の流域治水」の推進と復旧・復興に向けた重点10項目

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度末 到達イメージ	
6 生業の再建と 新たな産業の創出	事業再建支援 なりわい再建支援補助金による施設・設備の復旧支援 県制度融資による資金繰り支援 事業復活おうえん給付金(豪雨型)の創設 交付申請・決定完了 復旧率90.8% (決着510件・完了463件)	商店街の再開 仮設商店街の開設支援 被災した商店街の復旧支援 人吉市(2月) 坂本町(7月) 球磨村(9月、12月) 開設完了	新たな産業の創出 地域の資源を生かした産業の創出(立地促進補助金の投資・雇用要件緩和など「球磨川流域復興枠」の設置等) ローカル5Gなどの情報インフラの整備によるサテライトオフィスの設置やベンチャー企業誘致の推進 ワンストップ就労相談窓口設置(7月)	事業再開まで支援を継続 事業者の復旧工事完了 事業再開まで支援を継続 商店街の事業再開 新たな産業の創出と雇用の拡大	○再建を目指す全ての事業者の事業再開 ○流域全体をけん引する新たな産業の創出	
	農業基盤の復旧 営農用機械・施設の復旧【3,726件(R5.3月末時点)】 復旧完了 応急復旧・自力復旧【714件(R5.5月末時点)】 復旧完了 農地・農業用施設の本格的な復旧工事 620箇所完了・128箇所実施中 代替農地での営農継続支援 必要に応じて支援継続	林水産基盤の復旧 林道の本格的な復旧工事 復旧完了 209箇所完了・55箇所実施中 応急復旧・自力復旧【39件(R4.5月末時点)】 復旧完了 林水産施設(木材加工流通施設等)の復旧【7件(R4.3月末時点)】 復旧完了	林水産基盤の復旧 復旧完了 約5,700件	○再建を目指す全ての農林漁業者の生産基盤の復旧完了		
	集落アクセス 集落アクセス道路復旧 完了 666箇所完了 県南地域道路の本復旧完了	国道219号 国道219号 完了 666箇所完了 国の直轄代行による本格的な復旧工事	橋梁 仮橋の設置・流出橋梁の撤去及び復旧方針の検討 復旧完了 1橋 本復旧着手5橋 国の直轄代行による本格的な復旧工事	○集落啓開や仮橋の設置等による道路網の回復 ○国道219号・橋梁の創造的復興に向けた工事の着手・実施		
9 鉄道の復旧	肥薩おれんじ鉄道 全線開通(11月) 完了	くま川鉄道 再生協議会設立(12月) 部分運行開始(11月) 肥後西村～湯前駅間 部分運行 肥後西村～湯前駅間 部分運行 肥後西村～湯前駅間 部分運行	JR肥薩線 JR九州による復旧費用の算定及び復旧方針の検討 完了 R7年度全線運転再開	○くま川鉄道の部分運行及び全線運行に向けた工事実施 ○JR肥薩線の復旧方針に沿った事業実施		
	観光需要喚起 観光復興戦略検討 完了 観光復興戦略に沿った施策の展開・宿泊キャンペーンの実施 球磨川ゆかりの地域資源を活かし、新たな観光スタイルの確立と、観光地人吉・球磨の完全復活に向けた施策の実施 県内旅行助成の実施(国のGoToトラベル事業などと体系的に実施)	人吉温泉 施設復旧等の支援・当面の収益確保等 完了 復旧率69.7% (3月末時点)	球磨川くんだりラフティング 被災した施設復旧等の支援 再開 HASSENBA(7月オープン)ラフティング一部区間再開(第1弾:4月、第2弾:7月)	球磨洞 事業再開支援 再開 再開(5月)	文化財 被災した文化財の復旧 完了 復旧率93.9% (8月末時点)	○宿泊者数が被災前の水準を上回る ○人吉温泉、球磨川くんだりラフティング、球磨洞の再開 ○被災した文化財の復旧完了 ○球磨焼酎の世界進出による認知度向上・販路拡大
	球磨焼酎 現状分析等 完了 球磨焼酎の価値を高める研究開発、人材育成、誘客促進等の支援 サクランソウ・コンパニオン犬・スピリット・コンパニオンシヤム・球磨焼酎等 国内コンパニオン犬賞(5月)	球磨焼酎 完了 世界レベルのコンパニオン受賞 国内外における販路拡大	球磨焼酎 完了 世界レベルのコンパニオン受賞 国内外における販路拡大	○球磨焼酎の世界進出による認知度向上・販路拡大		

※上記の達成率等には、特別な事情により復旧等が困難な場合は含まれません。

IV-(2) 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策(県管理区間)

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

<発災から3年の取組みと成果・課題>

◆ 堆積土砂撤去・河道掘削

- ・県管理河川について、令和5年6月末までに **約133万m³を撤去。**(※)
- ・また、市房ダムにおいても、令和5年6月末までに **約47万m³の堆積土砂を撤去。**

(※)球磨川流域市町村+津奈木町における数量

◆ 河川情報の充実

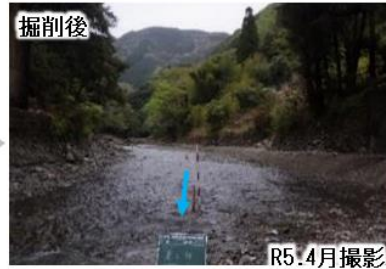
- ・水位計15基、河川カメラ26基を増設。(※)
- ・夜間でも河川の状況が確認できるよう、河川カメラへの照明設備18基追加。(※)

(※)R2.7月発災以降の合計、権限代行含む

小田浦川(芦北町)



湯浦川(芦北町)



<今後の展望(特に令和5年度末の到達イメージ)>

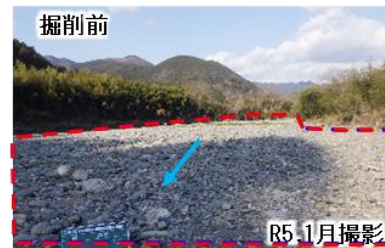
◆ 堆積土砂撤去・河道掘削

- ・引き続き、流域住民の声をお聞きしながら、河川の流下能力の維持・向上やダムの洪水調節容量の確保を図る。

◆ 河川情報の充実

- ・次期出水期までに、新たに河川カメラ**9基を増設**予定している。

万江川(人吉市)



川辺川(五木村)



市房ダム(水上村)



IV-(3) 被災した河川管理施設の復旧(県管理区間)

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

< 発災から3年の取組みと成果・課題 >

- 被災した全394箇所、約177億円(県管理の河川)について、現在、災害復旧事業を実施。
- 県による復旧箇所については、令和5年6月末までに、全394箇所の内、237箇所を工事完了。

< 今後の展望(特に令和5年度末の到達イメージ) >

- 1日も早い復旧復興に向け、**全394箇所の年度末までの完了**を目指す。



R5年3月撮影

宮浦川(芦北町)



R5年5月撮影

川辺川(相良村)



牛繰川(多良木町)

IV-(4) 田んぼダムの取組み

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

＜発災から3年の取組みと成果＞

- ・球磨川流域7市町村の水田約457haで取組みを実施。(R3:296ha⇒R4:457ha)
- ・有識者による検証委員会を設置し、水田の貯留効果による流出量のピークカット、農作物への影響等について評価を実施。
- ・人吉・球磨地域をはじめ、県内全域での田んぼダムの普及・拡大を推進するため、各地域の取組みをけん引する田んぼダムマイスターの育成に着手。

＜令和5年度末の到達イメージとその実現にむけた重点取組＞

- ・田んぼダムの取組みをリードする人材の育成等により、人吉・球磨地域のみならず、各地域での草の根的な展開を図る。
- ・広報活動等により、下流域の住民をはじめ、県民の理解促進に取り組んでいく。



県内全域での普及・拡大の推進を図る。

(球磨川流域での目標面積:540ha)

効果の検証及び人材の育成

- ・検証委員会から、県に対し実証実験の成果と今後の田んぼダムの進め方などを盛り込んだ提言書を提示。
- ・県内の多面的機能支払活動組織、土地改良区等を対象に研修会を開催し、田んぼダムマイスターを育成。

委員会から県へ提言書の提示



マイスター研修会



県営モデル事業の実施

- ・国庫補助事業を活用した排水樹の入替工事や推進活動を、県がモデル的に7市町村の約88haで実施予定。
- ・県営モデル事業にて事業実施のノウハウを蓄積して、R6以降は団体営事業による取組みを推進。

排水樹整備イメージ



推進活動イメージ(せき板配布)



IV-(5) 本格的な住まいの再建

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

＜発災から3年の取組みと成果＞

- ・仮設住宅の入居者は、令和5年6月末時点で**537世帯（1,128人）**。
令和3年1月末のピーク時から約7割が住まいの再建を実現。
- ・被災者一人一人の意向に寄り添ったきめ細かな住まいの再建支援。
- ・再建の目処が立っていない世帯に対しては、福祉関係機関と共に個別ケース会議を実施。課題解決のため伴走型による重点支援。

仮設住宅入居世帯



＜今後の展望（令和5年度末の到達イメージ）＞

- ・**災害公営住宅の約8割が順次完成することや、木造仮設住宅を住まいの再建先として活用することにより、多くの被災者が住まいの再建を実現。**
- ・**令和6年3月には、仮設住宅入居世帯の約9割が住まいの再建を実現する見込み。**

残る約1割（約200世帯）も、再建の目処が立ち、順次、住まいの再建が実現される見込み。
- ・**災害公営住宅等入居後も必要な見守り・支援を継続するとともに、住民主体のコミュニティ形成を支援。**

【地域支え合いセンター、関係機関による支援】



IV-(6) 人吉市中心市街地周辺の新たなまちづくり

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

- **中心市街地地区** 土地区画整理事業の認可 (R5.3.7) を受け、R10年度完了に向けて、復興まちづくり推進協議会との協議や、山田川整備と連携しながら推進
- **青井地区** 土地区画整理事業の認可 (R5.2.7) を受け、R10年度完了に向けて、復興まちづくり推進協議会と協議しながら推進
- **災害公営住宅の整備** R6.1月入居に向けて、相良町に建設中。また、東校区内での整備に向けて、事業者を選定
- **中川原公園の復旧** 地盤下げ工事を開始し、R5.3月に完了。災害復旧工事は、R5年度施工予定
- **紺屋小町のオープン** 民間事業者が主体となって飲食店街を整備 (R4.12月) し、中心市街地における賑わいを創出
- **避難路の整備** 重要整備路線の測量設計に着手。一部路線は令和6年度から工事着手し、円滑な避難環境の早期整備を図る

●災害公営住宅の整備 (相良町)



西瀬橋の復旧完了

災害公営住宅の整備

中川原公園の復旧

人吉城跡の復旧

紺屋小町

(~7店舗のうち5店舗の入居が決定)

くま川鉄道
(第四橋梁の復旧工事を開始)

被災市街地復興推進地域



土地区画整理事業区域



●青井地区



●中川原公園の復旧



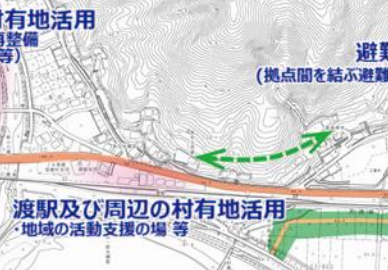
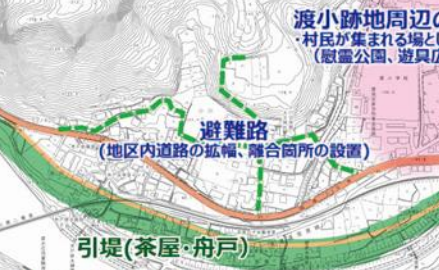
●中心市街地地区



IV-(7) 球磨村の集落再生に向けた取組み

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

- 被災者の早期の住まい再建等に向け、山口居住エリアの宅地造成及び避難路整備について、令和5年度中の一部供用開始を目指し、県が受託施行中
- 災害公営住宅について、一勝地（8戸）は令和5年6月末に完成、渡（60戸）は令和5年9月の入居に向け整備中
- 渡小学校、千寿園の跡地については、球磨村が令和2年7月豪雨の犠牲者を追悼する慰霊公園等の整備を検討中



渡地区で実施予定の事業

【くらし】	災害公営住宅	・総合運動公園遊具エリア（R5年9月入居開始予定）
	村有住宅	・総合運動公園芝生エリア・総合グラウンド一部（R5年度中供用開始予定）
	宅地整備・分譲	・宅地整備【塚ノ丸団地】（R5年度中供用開始予定） ・宅地分譲【一王子団地】（R4年度供用開始）
【そなえ】	流域治水の推進	・遊水地（山口・地下・今村） ・引堤（茶屋・舟戸）
	防災拠点	・総合運動公園敷地内 ・村道内布線～塚ノ丸団地～総合運動公園
	避難路	・幸、島田地区（拠点間を結ぶ避難路、避難歩道）
		・小川地区（地区内道路）



渡地区の復興まちづくりイメージ

IV-(8) 鉄道の復旧 (①くま川鉄道)

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

＜発災から3年の取組みと成果・課題＞

- ◆令和3年11月28日
「肥後西村駅～湯前駅」間で部分運行開始



再開後、通学生で溢れる「肥後西村駅」

- ◆既存橋桁・橋梁の撤去完了

- ◆令和5年1月26日
球磨川第4橋梁建設工事に着手



球磨川第4橋梁建設工事起工式

＜今後の展望(特に令和5年度末の到達イメージ)＞

- ・ 令和7年度中の全線運転再開に向けた復旧工事の実施

球磨川第4橋梁

【左岸側】橋脚、橋桁設置

【右岸側】橋脚設置



「球磨川第4橋梁」建設工事状況



新しい「球磨川第4橋梁」(イメージ図)

- ・ くま川鉄道(株)・地元市町村と連携し、「くま川鉄道再生協議会」において、復旧後の持続可能性に関する協議を進める。

(会議予定)

7月7日(金) くま川鉄道再生協議会

- ・ 国、県、市町村による財政支援の実施

IV-(8) 鉄道の復旧 (②JR肥薩線)

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

< 発災から3年の取組みと成果・課題 >

◆「肥薩線復旧を願う
アピール集会」
(令和4年3月 人吉市)



◆鉄道復旧に向けた関係者間での協議実施

・「**JR肥薩線検討会議**」(令和4年3月設置、4回開催)
構成: 熊本県・国土交通省・九州地方整備局
・九州運輸局・JR九州

・「**JR肥薩線再生協議会**」(令和4年4月設置、4回開催)
構成: 熊本県・地元12市町村

◆財政支援拡充に係る
国への要望



総務省への要望(令和4年6月)

◆代替交通の確保

①くま川鉄道、②JR肥薩線の運休により通学困難となった生徒への通学支援(①R2.7～、②R2.9～)
※R5年度も支援を継続

< 今後の展望(特に令和5年度末の到達イメージ) >

・「JR肥薩線検討会議」及び「JR肥薩線再生協議会」において、引き続き、鉄道復旧に向けた協議を進める。

6月22日(木) 第4回JR肥薩線再生協議会
6月28日(水) 第4回JR肥薩線検討会議



第4回 JR肥薩線再生協議会



第4回 JR肥薩線検討会議

・ 国、JR九州、地元市町村と連携のうえ、**持続可能な運行に向けた調査・検討事業を進め、JR肥薩線の利活用策と地域活性化の取組み方針をまとめる。**

IV-(9)観光地人吉・球磨の復活①観光地域づくりの更なる推進・旅行需要喚起

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

< 発災から3年の取組みと成果・課題 >

○観光施設等の再開支援

人吉温泉



復旧率 (R5.6月末時点)
93.9%

ラフティング、球磨川くだり



令和5年3月に再開
(球磨川下りは現在一時休止中)

球泉洞



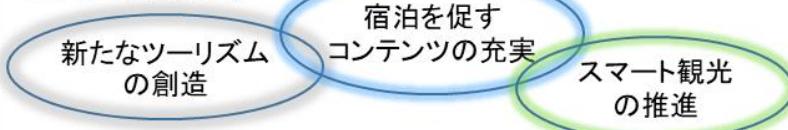
令和4年4月再開

文化財



被災した国・県指定等文化財の76.7%が復旧 (R5.6月末時点)

○『人吉球磨豪雨被災地観光復興戦略』に基づく取組み




▲ 球磨川での新たなアクティビティ導入実証



▲ 夜のイベント実施 (「夏目友人帳」影絵。R4.10~実施中)



▲ デジタルマップ作成



▲ 妖怪イベント (R5.3)

< 今後の展望 (特に令和5年度末の到達イメージ) >

○『観光復興戦略』の方向性に沿った取組み

- ・球磨川での新たなアクティビティの本格導入
- ・ワーキングスペースを活用したワーケーションの推進




夏目友人帳 アニメ15周年



- ・周遊促進・利便性向上に繋がる企画の実施 (kumaラボの取組も活用)

○その他新たな動き

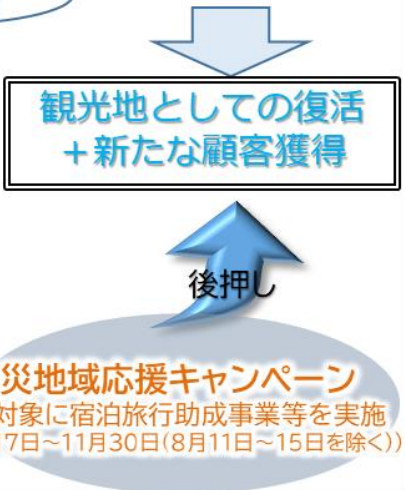


- ・『くまモンタウン人吉』(くまモンランド化構想)

くまモンと地域の食や体験・宿泊サービスを掛け合わせ、新たな19のコンテンツを創出



- ・青井阿蘇神社国宝記念館完成予定 (R5年秋頃グランドオープン予定)



○豪雨被災地域応援キャンペーン

豪雨被災地を対象に宿泊旅行助成事業等を実施 (旅行助成期間: 7月7日~11月30日(8月11日~15日を除く))

○旅行助成事業の実施

くまもと再発見の旅

豪雨被災地送客促進事業



©緑川ゆき・白泉社/「夏目友人帳」製作委員会

IV-(9)観光地人吉・球磨の復活②球磨焼酎の“トップ・オブ・ザ・ワールド戦略”

【IV.令和2年7月豪雨からの創造的復興】

＜発災から3年の取組みと成果・課題＞

○球磨焼酎の魅力発信



球磨焼酎蔵ツーリズム協議会
への商品造成支援



屋台村と連携した周知イベント

○球磨焼酎の販路拡大



(大阪) 大型商業施設での熊本フェア (6施設122店舗が参加)

(国内外コンペティションにおける受賞の一部)



プラチナ
賞



Kura
Master2022



最高
金賞



TWSC2022



金賞



IWSC2022

＜今後の展望(特に令和5年度末の到達イメージ)＞

○球磨焼酎の魅力発信

- ・蔵元の歴史調査や密着取材を踏まえ、球磨焼酎の魅力を発信
- ・台湾始めインバウンドをターゲットとした蔵ツーリズムを推進



↓
新たなファンの獲得

○球磨焼酎の販路拡大

- ・前年度に実施した大阪に加え、東京や博多においても、百貨店や飲食店等と連携したエリアジャックイベントを実施
- ・商品開発や、商談会・展示会・コンペティション参加を支援



↓
取引先の拡大、付加価値創出・商品力向上

V.財政の姿

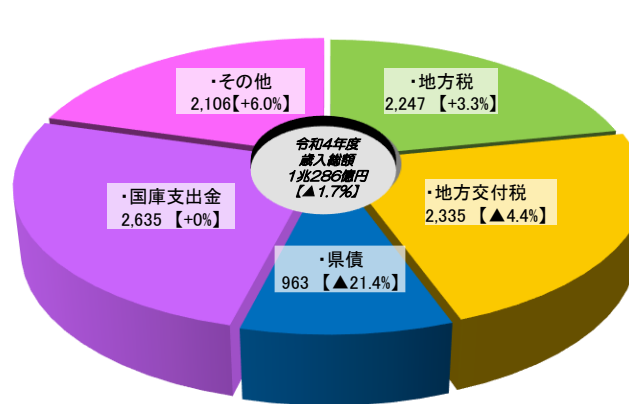
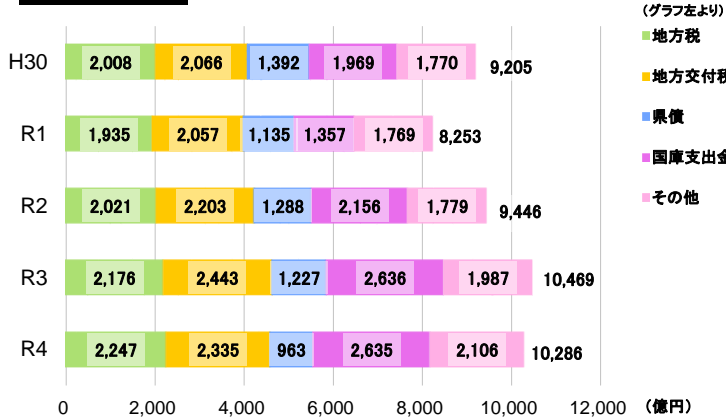
～決算状況から見るくまもと～

V-(1)歳入・歳出決算の状況(普通会計)

【V. 財政の姿～決算状況から見るくまもと～】

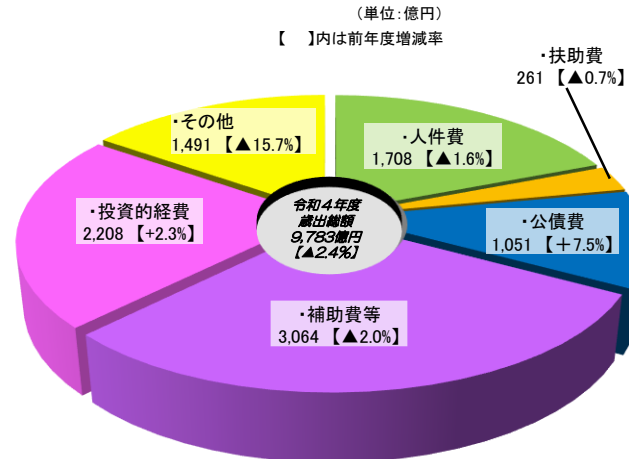
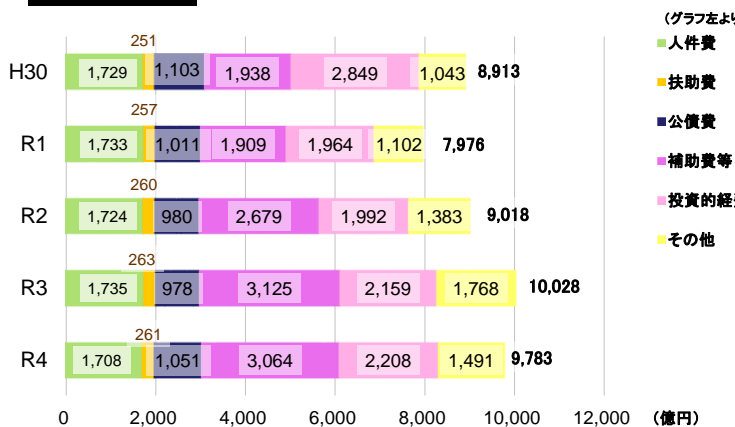
■ 決算規模は、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症への対応や令和2年7月豪雨からの復旧・復興関連事業の実施に伴い、歳入歳出ともに増となったが、R4年度は、歳入においては地方交付税の減、歳出においては補助費の減などにより、歳入歳出ともに減（歳入：前年度比▲1.7%、歳出：前年度比▲2.4%）となった

歳入決算



- **地方税**は、景気回復に伴う法人事業税の増(+46億円)等により、全体で3.3%の増
- **地方交付税**は、R3年度と比較して再算定に伴う追加交付分が減したことによる普通交付税の減(▲100億円)及び令和2年7月豪雨関連経費の減等に伴う特別交付税の減(▲7億円)により、全体で4.4%の減
- **県債**は、臨時財政対策債の減(▲233億円)等により、全体で21.4%の減
- **国庫支出金**は、訪日外国人旅行者事業費補助の増(+111億円)や地方創生臨時交付金(協力要請推進枠分)の皆増(+111億円)等があるものの、生活福祉資金貸付費等補助の減(▲89億円)や7月豪雨関連補助金の減により、全体では増減なし

歳出決算



- **人件費**は、教職員退職手当の減(▲77億円)や小学校職員給(期末手当)の減(▲6億円)等により、全体で1.6%の減
- **扶助費**は、水俣病総合対策費等扶助費の減(▲2億円)等により、全体で0.7%の減
- **公債費**は、償還元金の増(借換債を発行せず償還したもの+38億円、熊本地震分の本格化+24億円)等により、全体で7.5%の増
- **補助費等**は、生活福祉資金貸付事業の減(▲47億円)や新型コロナウイルスワクチン接種体制支援事業(▲16億円)の減等より、全体で2.0%の減
- **投資的経費**は、なりわい再建事業の増(+80億円)や直轄災害復旧事業負担金(経済対策分)の増(+67億円)等により、全体で2.3%の増
- **その他**は、県債管理基金積立金の減(▲271億円)等により、全体で15.7%の減

(注)各項目についての計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

V-(2) 決算規模(普通会計)

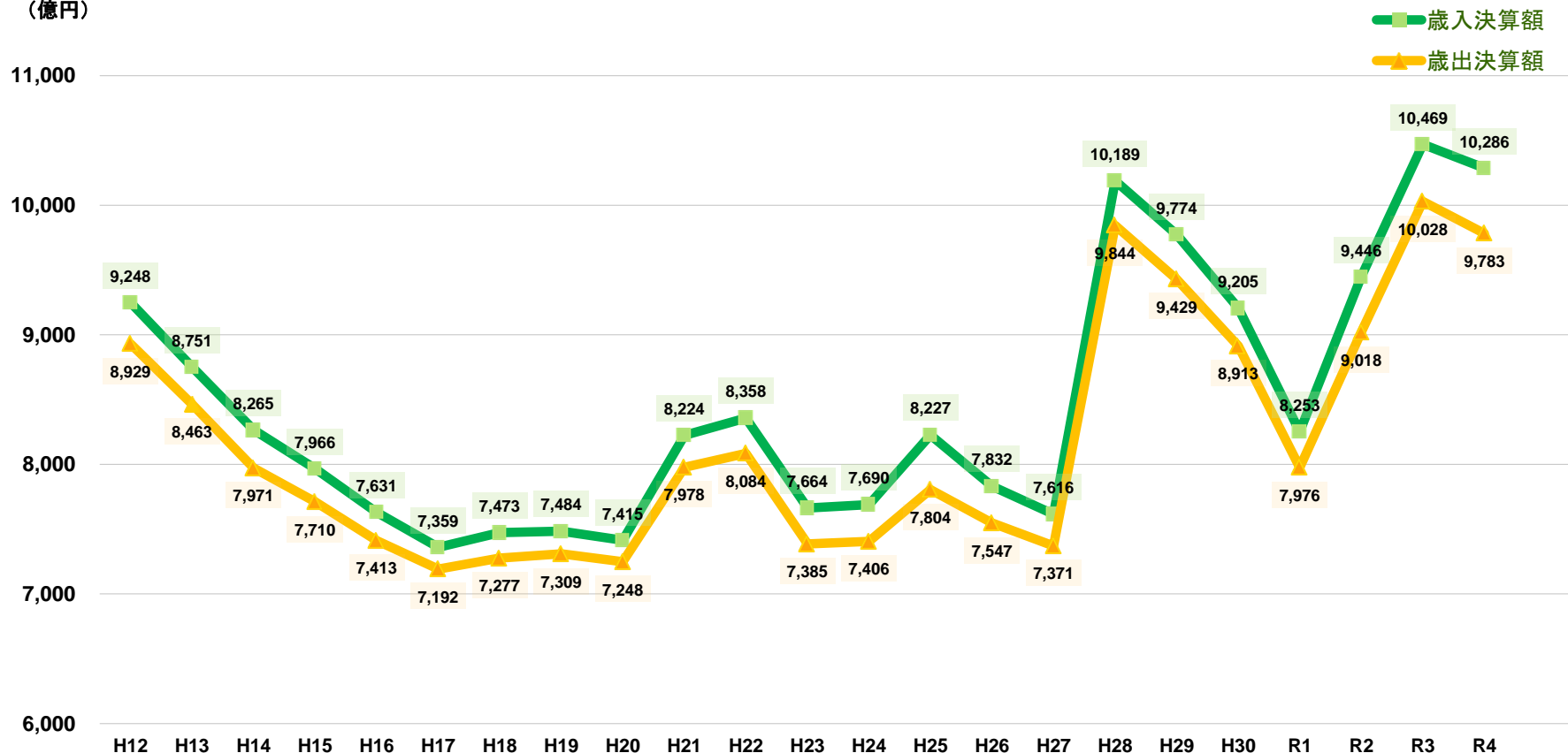
【V. 財政の姿～決算状況から見るくまもと～】

■ H28熊本地震からの復旧・復興の進捗に伴い、歳入歳出ともに減少していたが、R2年度から新型コロナウイルス感染症への対応や令和2年7月豪雨からの復旧・復興関連事業の実施によって、歳入歳出ともに決算規模が拡大

(*) 普通会計:全予算会計の中から病院、電気、下水道事業等いわゆる「公営事業会計」に属するものを除いたもの。

決算規模の推移

(億円)



(注) 平成12年までは、チッソ県債借換という特殊事情(平成9年度)を除くと8,000億円台で推移。その後、国の地方財政計画の縮小や県の財政健全化計画に基づく取組み等により減少傾向に転じ、平成17年度から平成20年度は7,000億円前半まで減少。しかし、平成21、22及び25年度は、大型の経済対策等の実施に伴い8,000億円前後まで増加。平成23年度及び平成24年度はこれらの縮小により7,000億円台となった。平成28年度は熊本地震からの復旧・復興を図るための予算編成により、約1兆円規模となった。平成29年度、令和元年度は、熊本地震関連の災害復旧事業の減少に伴う国庫補助金の減、災害復旧事業の減などにより前年度に比べ歳入歳出ともに減となった。令和2、3年度は令和2年7月豪雨及び新型コロナウイルス感染症対応事業等によって、歳入歳出ともに増となったが、令和4年度は減に転じた。

【V. 財政の姿～決算状況から見るくまもと～】

- 財政力指数 (直近3カ年 (R2～R4)の平均) は、昨年度と横ばい
- 財政規模に対する公債費の大きさを示す実質公債費比率 (直近3カ年 (R2～R4)の平均) は、平成8年度がピークであった過去の投資的経費に係る通常県債の元利償還金が減少傾向にある一方、平成28年熊本地震関連及び令和2年7月豪雨関連の県債は償還が本格化しつつあることから、0.5ポイントの増加
- 財政規模に対する負債の大きさを示す将来負担比率は、平成28年熊本地震関連、令和2年7月豪雨関連及び国土強靱化関連の県債残高が増えたことから11.2ポイントの増加

(*) 普通会計: 全予算会計の中から病院、電気、下水道事業等いわゆる「公営事業会計」に属するものを除いたもの。

項目	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし
実質公債費比率	9.4	8.5	7.7	7.3	7.8
将来負担比率	194.9	205.6	210.9	198.3	209.5
財政力指数	0.41	0.42	0.43	0.40	0.40
標準財政規模 (単位: 百万円)	417,143	418,498	425,882	442,289	435,111
自主財源比率	37.6	40.9	37.1	36.7	38.7
経常収支比率	93.6	94.2	92.7	84.9	90.5
実質収支 (単位: 百万円)	14,544	12,662	23,985	20,600	24,628
実質単年度収支 (単位: 百万円)	▲2,474	▲1,873	11,332	▲3,385	4,035

(注)
 ●実質赤字比率: 3.75%以上→早期健全化団体、5%以上→財政再生団体
 ●実質公債費比率: 18%以上→起債許可団体、25%以上→早期健全化団体、35%以上→財政再生団体

●連結実質赤字比率: 8.75%以上→早期健全化団体、15%以上→財政再生団体
 ●将来負担比率: 400%以上→早期健全化団体

V-(4) 公営企業会計決算の状況

【V. 財政の姿～決算状況から見るくまもと～】

- 地方公営企業とは、地方公共団体が直接、公共の利益を目的として経営する企業であり、本県では、地方公営企業法の適用を受ける公営企業として、5事業を経営
- 病院事業では、平成15年度以来黒字を継続
- 電気事業では、主力の水力発電所のリニューアル事業に伴う発電停止等により損失を計上
- 工業用水道事業では、需要開拓やコンセッション方式の導入（令和3年度～）等により経営改善に努めている
- 有料駐車場事業では、開業2年目以来黒字を継続。平成28年度からは指定管理者運営に移行
- 流域下水道事業では、安定的な経営を行ってきたところ、令和2年度からは地方公営企業法を適用した企業会計に移行

(単位:百万円)

収益的収支

区分	令和4年度			令和3年度			前年度増減		
	収益	費用	純損益	収益	費用	純損益	収益	費用	純損益
病院	2,080	1,580	500	1,984	1,677	307	96	△97	193
電気	1,957	2,241	△284	1,007	1,621	△614	950	620	330
工業用水道	939	1,092	△153	1,046	1,176	△130	△107	△84	△23
駐車場	109	37	72	101	69	32	8	△32	40
流域下水道	3,204	3,020	184	3,221	3,200	21	△17	△180	163
合計	8,289	7,970	319	7,359	7,743	△384	930	227	703

資本的収支

区分	令和4年度			令和3年度			前年度増減		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引
病院	904	1,026	△122	350	457	△107	554	569	△15
電気	2,895	4,844	△1,949	2,658	2,804	△146	237	2,040	△1,803
工業用水道	692	754	△62	653	741	△88	39	13	26
駐車場	0	50	△50	0	200	△200	0	△150	150
流域下水道	786	1,290	△504	1,200	2,072	△872	△414	△782	368
合計	5,277	7,964	△2,687	4,861	6,274	△1,413	416	1,690	△1,274

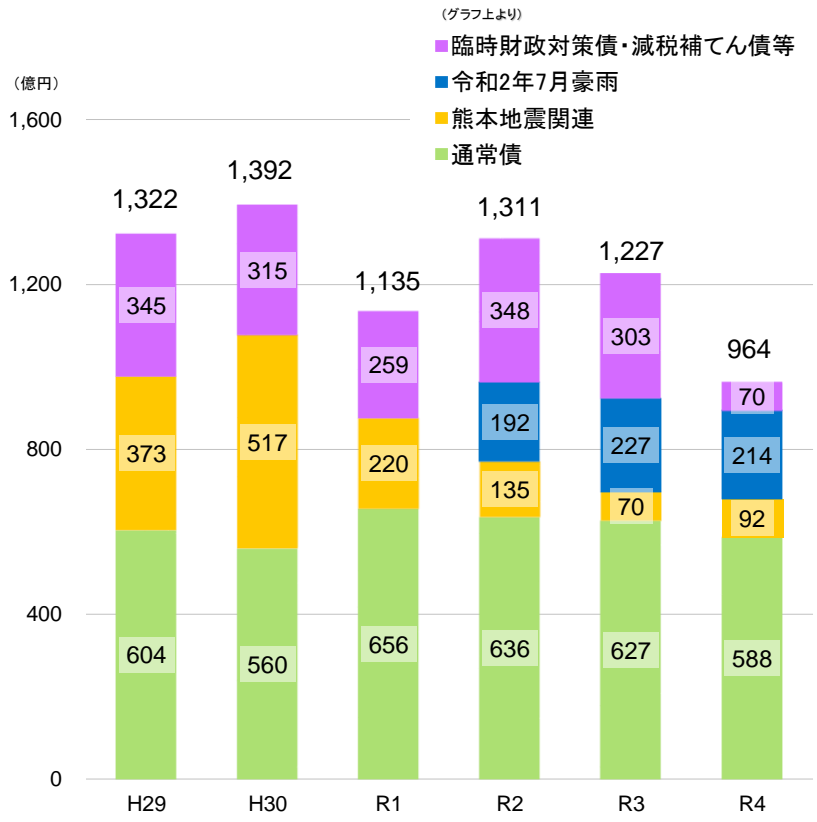
(注) 各項目についての計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

V-(5) 県債発行額の推移 (借換債を除く)

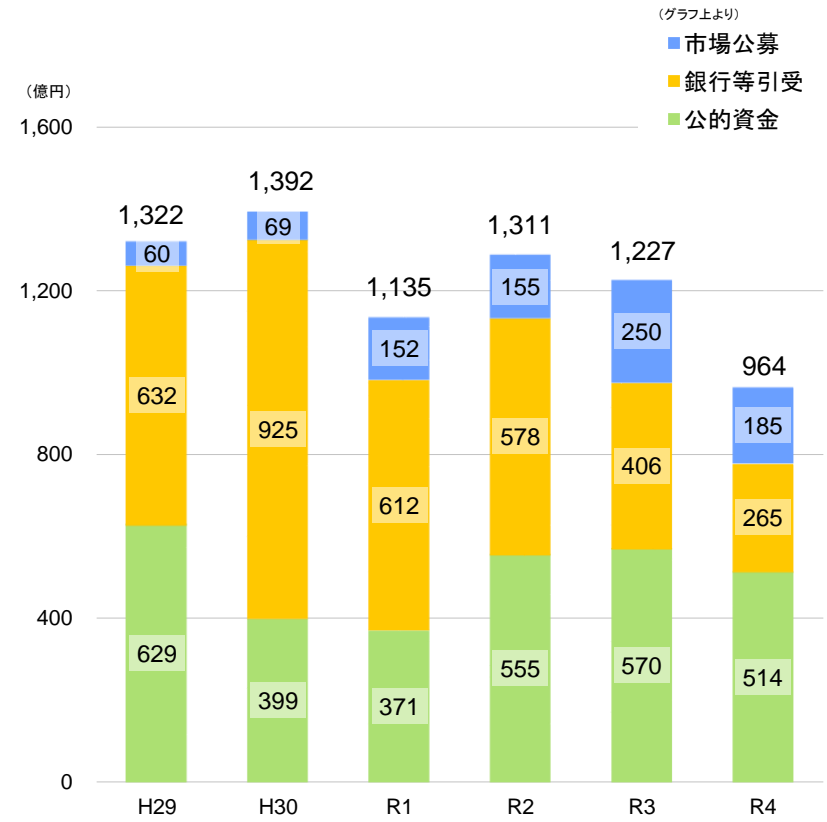
【V. 財政の姿～決算状況から見るくまもと～】

- 民間資金（市場公募+銀行等引受）について、令和4年度は臨時財政対策債の発行が少なくなり、発行総額が減少。公的資金を優先的に借り入れていることから民間資金の割合が低下
- 令和4年度は、市場公募債を600億円発行（うち415億円は借換債に充当）。300億円を共同債、100億円を主幹事方式、200億円をシ団方式で発行

新発債発行額の推移



新発債発行額の推移(資金別)



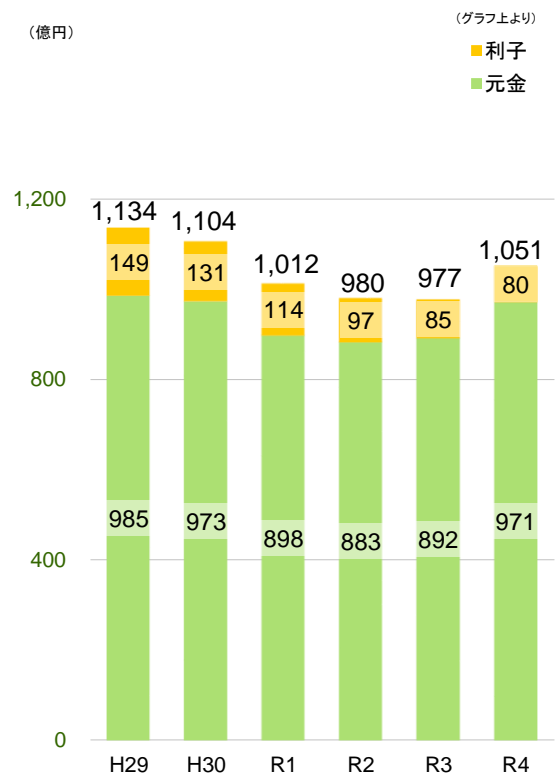
(*) 通常債：普通会計債から地方交付税と同じく一般財源となる、臨時財政対策債、減税補てん債(交付税措置のある75%に限る。)等、熊本地震・令和2年7月豪雨関連を除いたもの。
 (注) 各項目についての計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

V-(6) 公債費及び県債残高の推移・県債管理基金等の状況

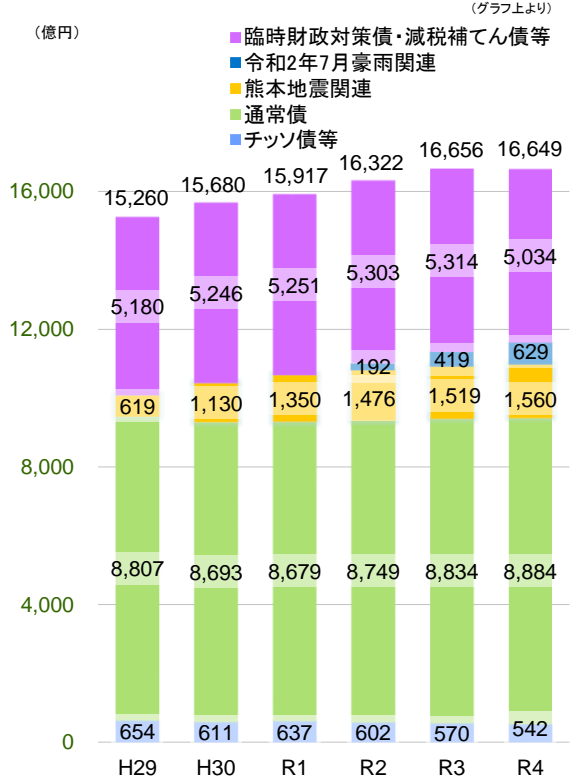
【V. 財政の姿～決算状況から見るくまもと～】

- 財政健全化の取組みにおける投資的経費の抑制等や金利低下に伴い、公債費は近年減少傾向にあったが、令和3年度から増加に転じ、令和4年度は1,051億円
- 県で発行をコントロールできる通常債の残高は、財政健全化の取組みによって減少トレンドを維持してきたが、国土強靱化事業への取組み等が影響し、令和2年度から増加に転じている
- 市場公募債の満期一括償還に備え、平成18年度から県債管理基金に積立てを行っている

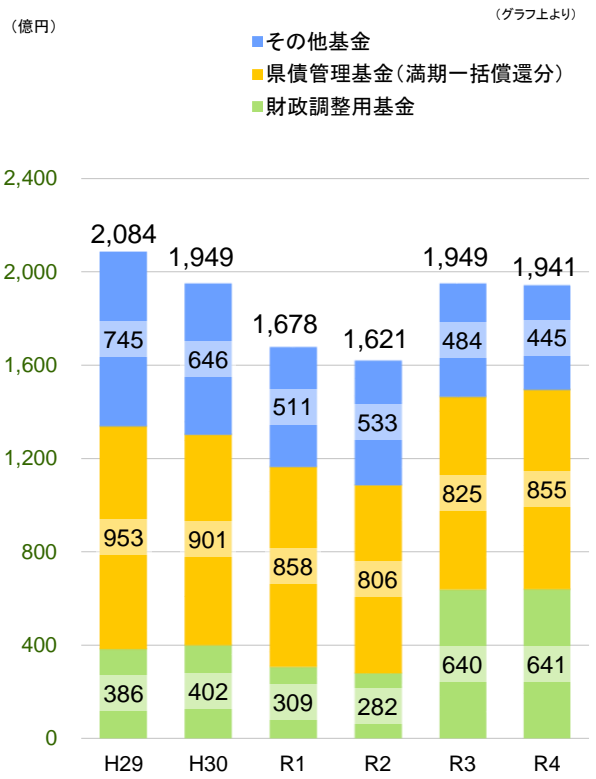
公債費(元利償還金)の推移



県債残高の推移



基金の状況



(*) 通常債：普通会計債から地方交付税と同じく一般財源となる、臨時財政対策債、減税補てん債(交付税措置のある75%分に限る。)等、熊本地震・令和2年7月豪雨関連を除いたもの。

VI.一般会計予算の 概要

～予算から見るくまもと～

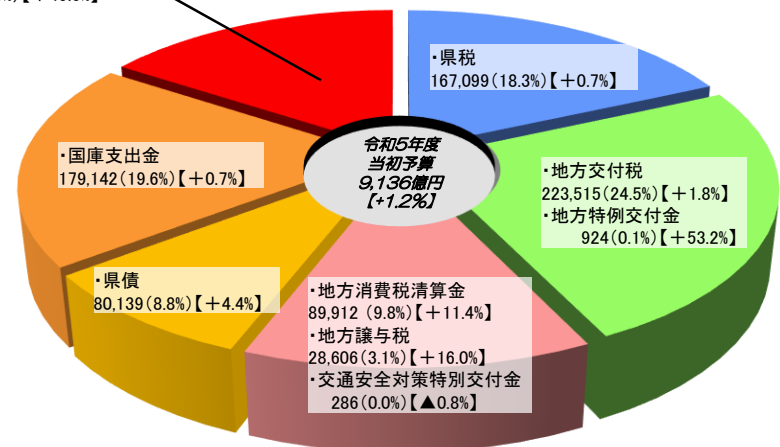
VI-(1)当初予算の概要(歳入予算)

【VI. 一般会計予算の概要～予算から見るくまもと～】

- 令和5年度当初予算は、令和4年度に比べ106億円の増となり、当初予算額としては県政史上最大の規模となった
- 増額の要因は、法人2税や地方消費税等の増によって県税が増となったこと、地方交付税が増となったこと、感染症対応のため国庫支出金が増となったことなどが挙げられる

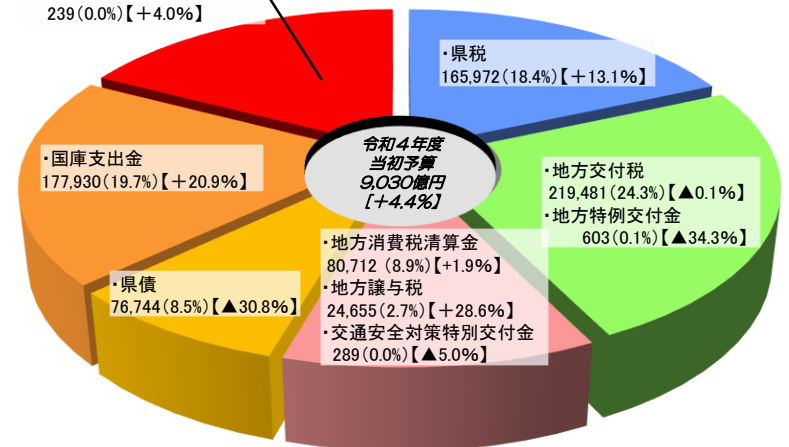
令和5年度当初予算(歳入)

- ・分担金及び負担金 3,862(0.4%)【▲3.5%】
 - ・使用料及び手数料 8,797(1.0%)【▲5.1%】
 - ・諸収入 69,318(7.6%)【▲15.0%】
 - ・繰入金 59,946(6.6%)【▲0.1%】
 - ・財産収入 1,695(0.2%)【+9.5%】
 - ・寄附金 349(0.0%)【+45.6%】
- (単位:百万円)
()内は構成比
【 】内は前年度増減率



【参考】令和4年度当初予算(歳入)

- ・分担金及び負担金 4,004(0.4%)【+14.3%】
 - ・使用料及び手数料 9,266(1.0%)【▲1.9%】
 - ・諸収入 81,592(9.0%)【▲5.7%】
 - ・繰入金 60,010(6.6%)【+49.8%】
 - ・財産収入 1,547(0.2%)【+18.8%】
 - ・寄附金 239(0.0%)【+4.0%】
- (単位:百万円)
()内は構成比
【 】内は前年度増減率



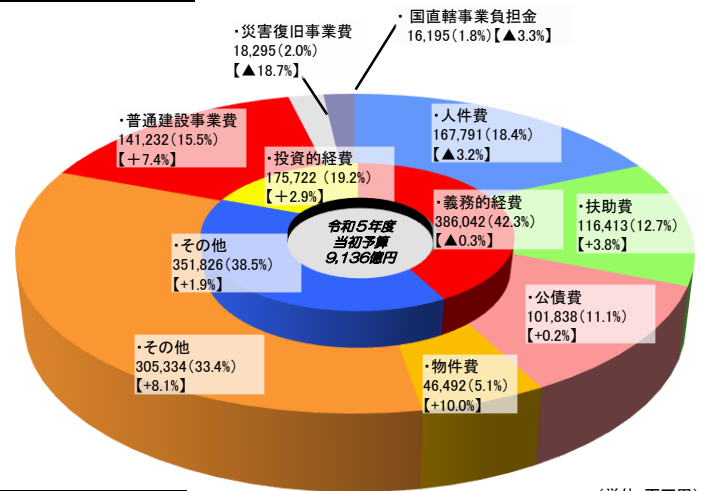
(注)各項目についての計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

VI-(2)当初予算の概要(歳出予算)

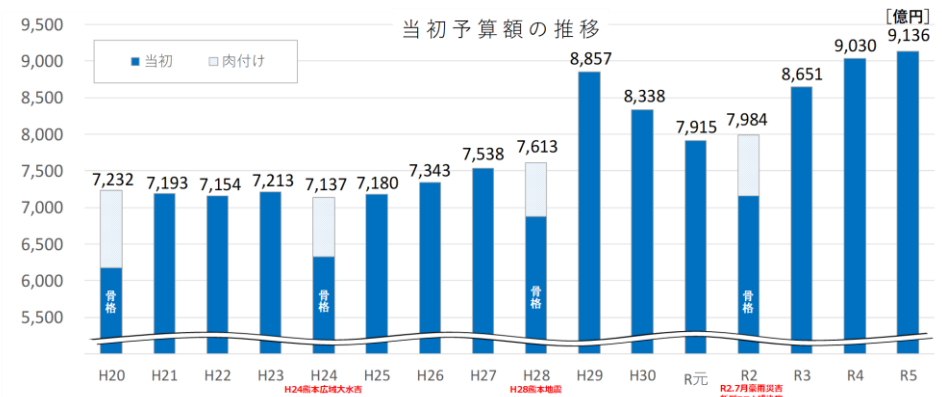
【VI. 一般会計予算の概要～予算から見るくまと～】

- 令和5年度当初予算は、令和4年度に比べ、106億円の増加。これは、扶助費や投資的経費の増等が主な要因
- また、新型コロナウイルス感染症への対応や令和2年7月豪雨からの復旧・復興関連事業の実施、半導体産業の更なる集積に向けた取組み等に伴い、当初予算額としては、県政史上最大の規模となった

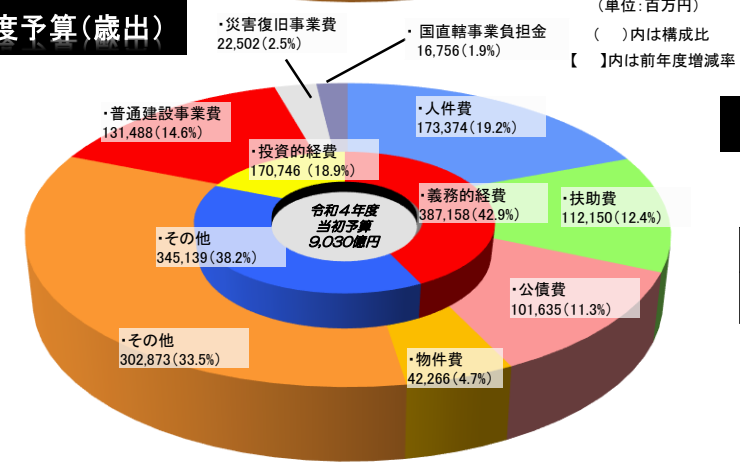
令和5年度当初予算(歳出)



当初予算額の推移



【参考】令和4年度予算(歳出)



財政調整4基金残高の推移

○ R 2.9 補(肉付け後)にいったんゼロとなった4基金について、83億円を確保

年度	H20(肉付け後)	H21	H22	H23	H24(肉付け後)	H25	H26	H27	H28(肉付け後)	H29	H30	H31	R2(肉付け後)	R3	R4	R5
残高(億円)	53	53	53	61	82	86	94	106	0	84	82	84	0	56	54	83

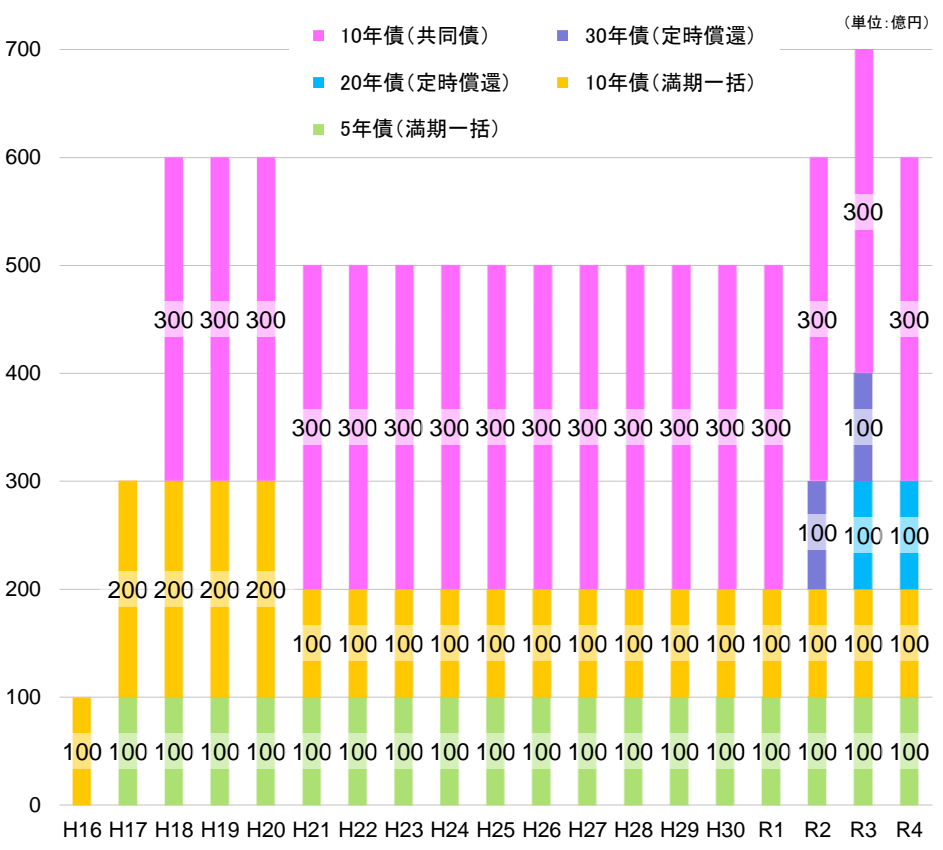
(注)各項目についての計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

VII.熊本県 市場公募債の状況

VII 熊本県市場公募債の状況

- 平成16年度に初めて全国型市場公募債を発行し、令和2年度からは主幹事方式による定時償還債も発行
- 令和5年度においては、7月の5年債100億円、10月の10年債100億円に加え、6月に20年定時償還債（主幹事方式）を100億円発行
- また、共同債において、11月と3月に当県において初めてグリーンボンドを発行予定

発行額の推移



令和5年度発行計画(案)

(単位:億円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債(満期一括)				100									100
10年債(満期一括)							100						100
20年債(定時償還)			100										100
共同債	50		50	50		50			50		50		300
グリーン共同債								25				25	50
合計	50		150	150		50	100		50		50		650

(注1) 共同債は、全国型市場公募債を発行する地方公共団体(37団体)が共同して発行する債券
 (注2) 発行計画は、年度途中に変更する場合がある

- 平成15年度に初めて住民参加型市場公募債を30億円(5年債)発行
- 平成16年度に全国型市場公募債を100億円(10年債)を発行
- 平成17年度から平成20年度まで、個別債を300億円発行
- 平成18年度から、共同債300億円を発行
- 平成21年度から令和元年度までは個別債200億円、共同債300億円を発行
- 令和2年度は、個別債300億円、共同債300億円を発行
- 令和3年度は、個別債400億円、共同債300億円を発行
- 令和5年度発行分個別債は、6月に20年定時償還債100億円、7月に5年債100億円を発行済。10月に10年債100億円を発行予定
- また、共同債について、1回あたり50億円を年6回にわたって総額300億円発行予定。別途、グリーン共同債を50億円発行予定

・本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません
・本資料に掲載している情報は、修正される場合があります



© 2010熊本県くまモン

<熊本県債に関するお問い合わせ先>

■ 熊本県総務部財政課

- 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6 丁目18番 1号
- TEL : 096-333-2084 ● FAX : 096-382-7815
- e-mail : zaisei@pref.kumamoto.lg.jp ● HPアドレス : <http://www.pref.kumamoto.jp/>